

さくらしゃ
咲良舎
第2回
さくらびより
櫻日和

第2弾「貨幣」 (1946年作)

作：太宰治

出演：山岡竜生



第3弾「留守」 (1927年作)

作：岸田國士

出演：風戸蒔、小林真樹、
和田悠佑



演出：守輪咲良
制作：新岳大典

咲良舎／櫻塾の俳優たちが朗読の形をとって実験的にチャレンジ、様々な名作短編をレパートリーに、入れ替わりで上演してまいります。ラジオ・テレビ・インターネットの無かった時代のごとく、ご足労ではありますが、お客さまには会場まで足をお運びいただき、俳優たちの生の演技に触れながら交流を楽しんでいただけたらと思います。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。 新岳大典

守輪咲良プロフィール

咲良舎／櫻塾主宰。演出家。俳優。演技指導。

日本演出者協会会員。一般社団法人日露演劇会議・常務理事。

「貨幣」あらすじ

語り手は一枚の百円紙幣。生まれたばかりの百円紙幣が初めて若い大工さんに手渡され、神棚にあげられて拝まれた幸せはつかの間で、次の日には質屋でおかみさんの着物とかえられ・・・こうして百円紙幣はあちこち渡り歩いてしわくちゃになっていくのだが、数年後にもどった東京はすっかり変わり、はて混乱を極めていた。戦争がもたらす社会の荒廃、そのなかで人間性を失っていく人々。「恥じて下さい!」「人間ならば恥じて下さい!」百円紙幣は叫ぶ。闇屋で人から人へと渡り歩きながら、百円紙幣の視線はあさましい人間模様へと向けられていく。そんな中、とある小都市での出来事に百円紙幣は救われる。火の海のなか、欲もなく、見栄もなく・・・それは未来への一筋の光か・・・。

「留守」あらすじ

女中のお八重さんが講談本を読んでいる。家の人たちは出かけて留守。そこへ隣の女中のおしまさんがやってくる。お隣もみんな出かけて留守なので、女中同士で暇つぶしである。

お互い住み込んで働く身。家人の様子、待遇やら将来の話など話はいろいろだが、詮索好きのおしまさん、お八重さんがこの家の旦那さんと変な仲になっていると噂を聞いた、八百屋だって知っている話だと言う。身に覚えがない噂話にお八重さんは、奥さんの若い男性との内緒話もあって、この家を出るという。深刻な話になってしまつて困惑するおしまさん。

そこへ八百屋さんが配達にやってくる。お八重さんは自分の噂話を聞き出そうとするが、八百屋さんははっきり自分のお八重さんへの恋心が噂になっている話だと思い込んで告白するはめに。さあ、どうするのか、おしまさん!?

日 時 2025年8月30日 (土) **開場15:30～開演16:00～**

場 所 かたびら・スペース・しばた。

(横須賀線・湘南新宿ライン JR 保土ヶ谷駅西口徒歩3分)

御予約・お問い合わせは公式サイトまで

<http://www.katabiraspace.jp>

料 金 お志で結構です。終了後、銭箱にご投入ください。

かたびら・スペース・しばた。 横浜市保土ヶ谷区帷子町 2-58

<http://www.katabiraspace.jp> hodogaya-office@katabiraspace.jp